

平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果について

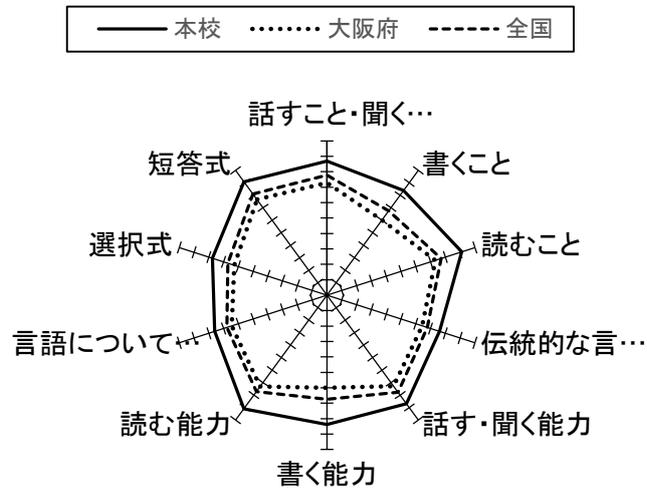
枚方市立楠葉中学校

今年度の全国学力・学習状況調査の結果(個票は10月7日に返却済)から見える本校の状況についてお知らせします。

国語A

分類	区分	平均正答率(%)		
		本校	大阪府	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	83.5	76.4	78.9
	書くこと	81.9	70.0	73.7
	読むこと	85.5	76.6	78.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	78.0	72.2	73.9
評価の観点	話す・聞く能力	83.5	76.4	78.9
	書く能力	81.9	70.0	73.7
	読む能力	85.5	76.6	78.6
	言語についての知識・理解・技能	78.0	72.2	73.9
問題形式	選択式	78.8	71.4	73.5
	短答式	85.4	78.3	80.5

国語A



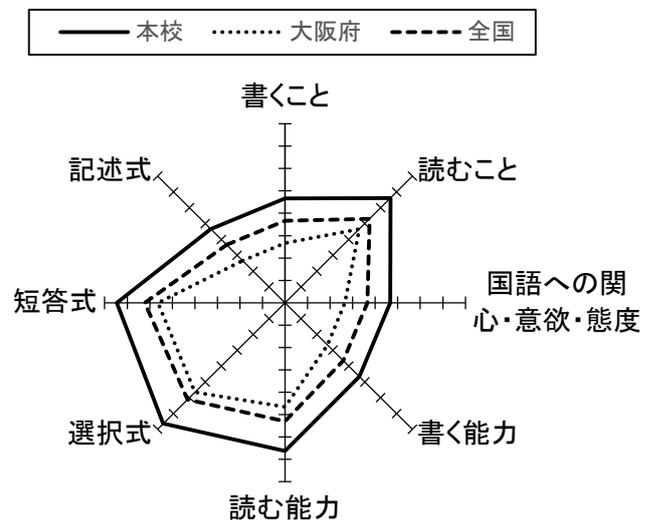
【成果と課題】

A問題では、ほぼ全ての問題において全国平均を大きく上回っており、基礎的な学力は定着していると考えられます。文章を正しく読んで、要旨をとらえる力がついてきています。「話す・聞く」においても、日常の言語活動などの成果が表れていると考えています。一方、伝統的な言語文化や、普段使い慣れていない言葉の問題の正答率は他と比べて低く、また、辞書を引く問題の正答率も低くなっています。

国語B

分類	区分	平均正答率(%)		
		本校	大阪府	全国
学習指導要領の領域等	書くこと	63.3	53.3	58.3
	読むこと	73.1	63.3	66.5
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	63.3	53.3	58.3
	書く能力	63.3	53.3	58.3
	読む能力	73.1	63.3	66.5
	国語への関心・意欲・態度	63.3	53.3	58.3
問題形式	選択式	78.2	68.3	70.6
	短答式	77.3	68.2	71.1
	記述式	63.3	53.3	58.3

国語B



【成果と課題】

B問題もほぼ全国平均を大きく上回っています。図や資料を使った学習の機会が増え、図や資料から必要な情報を読み取る力が定着しつつあります。

特に図から読み取った内容を要約する力もついてきています。このように、資料から情報を読み取る力は着いてきていますが、必要な資料を探す力は不足しています。また、資料から読み取った情報から自分の考えを持ち、それを書く力が不足しているといえます。

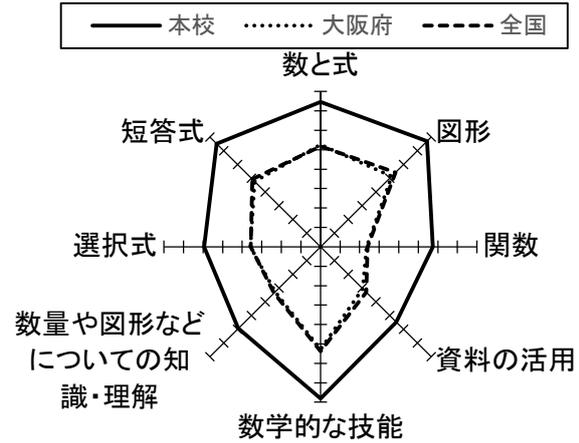
【課題改善に向けて】

本や資料を使って必要な情報を調べ、まとめる力をつけるため、調べ学習の時間を増やしたいと考えています。また、新聞を取っていない家庭もあるので、授業で新聞記事に触れる機会も増やしていきます。引き続き班を活用した言語活動を行い、他人の意見を聞いたり、自分の意見を述べる時間を作ります。さらに、自分の意見を述べるだけでなく、文章にすることを通して、文章で自分の考えを述べる力を身につけさせたいと考えています。

数学A

分類	区分	平均正答率(%)		
		本校	大阪府	全国
学習指導要領の領域	数と式	77.3	66.3	65.9
	図形	78.5	65.7	67.1
	関数	68.7	51.8	52.0
	資料の活用	67.4	55.3	56.5
評価の観点	数学的な技能	79.1	66.4	66.9
	数量や図形などについての知識・理解	69.7	56.4	56.8
問題形式	選択式	69.7	57.9	57.8
	短答式	77.5	63.8	64.6

数学A



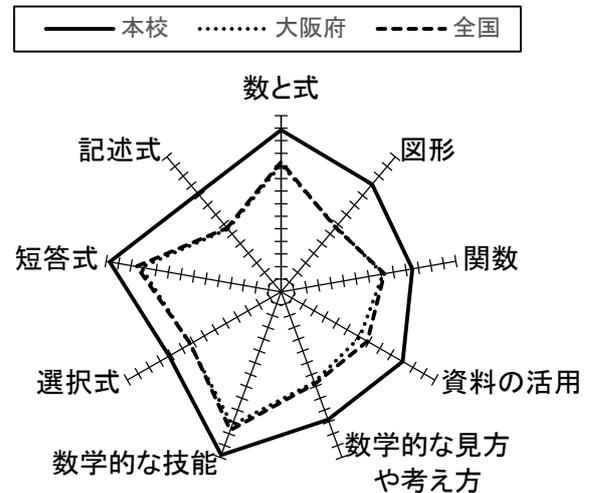
【成果と課題】

本校の正答率はどの領域においても全国平均を大きく上回っています。具体的な場面で、数量が表す意味を捉え数量関係を式に表し、目的に応じて変形もできます。特に2つの数量の関係を式に表し、グラフや表から特徴を捉えること、変化の割合や変域の意味についてもよく理解しています。また、図形では証明の必要性と意味をよく理解できています。一方で、選択式の問題の無解答率から意欲関心の低い生徒が少数ではあるがいることがわかります。また、作図方法で得られた線の特徴を図形の性質と関連付けられていないことや近似値と誤差の意味が理解できていない生徒が多いことなどの課題が挙げられます。

数学B

分類	区分	平均正答率(%)		
		本校	大阪府	全国
学習指導要領の領域	数と式	64.2	50.5	51.5
	図形	55.8	33.7	33.3
	関数	52.6	40.8	41.4
	資料の活用	55.3	35.9	39.3
評価の観点	数学的な見方や考え方	54.0	38.3	38.9
	数学的な技能	69.0	56.3	58.5
問題形式	選択式	51.0	41.5	41.3
	短答式	68.6	56.0	57.8
	記述式	50.9	32.5	33.1

数学B



【成果と課題】

B問題においても、本校の正答率はどの領域においても全国平均を大きく上回っています。特に図形領域で筋道を立てて考え証明する力や発展的に考え、新たに見いだした事柄を数学的に表現する力もついていっています。記述式の問題の正答率も高く、数学的な表現を用いて説明できるようになっています。一方で、生活の場面で与えられた表から適切に情報を選択したり、グラフから得た数学的な結果を事象に即して解釈することができていないことが課題としてあげられます。

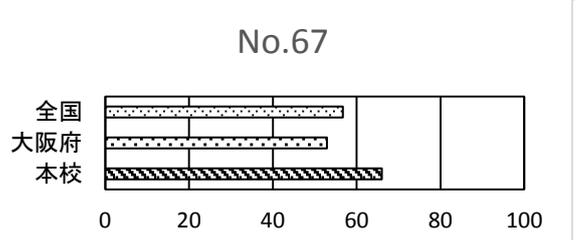
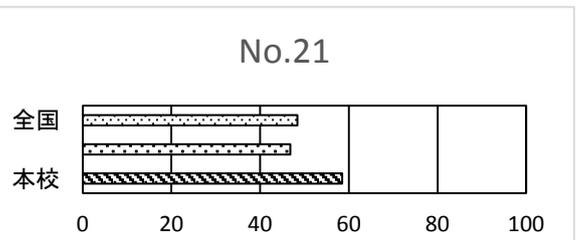
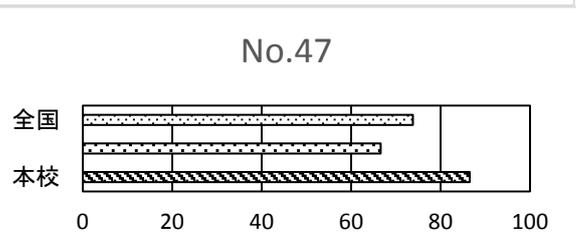
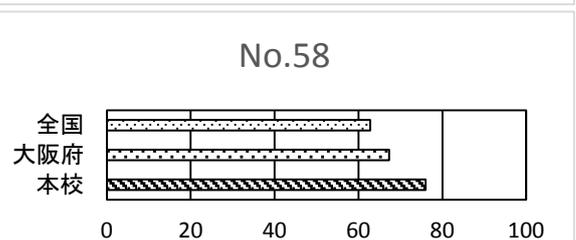
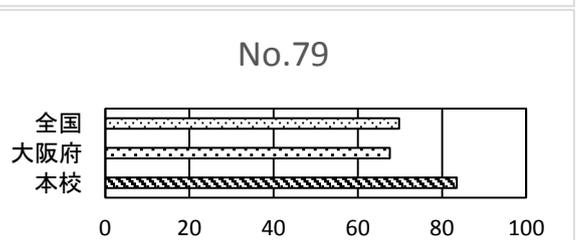
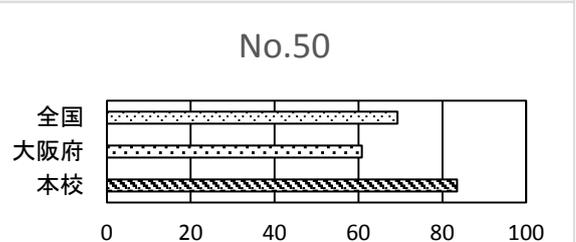
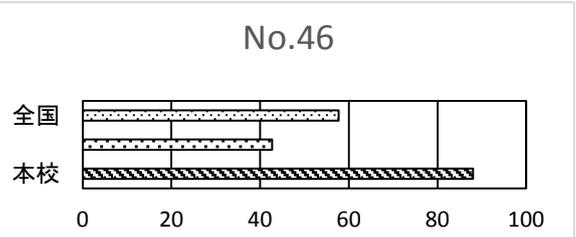
【課題改善に向けて】

数量関係を式に表すことや、式があらわす意味を事象に即して理解することや、図形の証明の必要性や意味を理解することは、これまでの授業改善の成果として表れてきています。さらに数学的な表現を用いて説明したり、日常生活の具体的な場面で数学的な事象と捉えて問題解決に数学を活用できるように授業改善に取り組んでいきます。

生徒質問紙について

(1) 肯定的回答が全国平均を上回っている質問項目で顕著なもの

No	質問項目	本校	大阪府	全国	全国との差
46	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。	88	42.7	57.7	30.3
50	1, 2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか。	83.5	60.8	69.3	14.2
79	数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか。	83.5	67.6	69.8	13.7
58	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。	76	67.3	62.8	13.2
47	1, 2年生のときに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	86.5	66.6	73.8	12.7
21	家で、計画を立てて勉強していますか。	58.5	46.8	48.4	10.1
67	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。	66	52.9	56.7	9.3

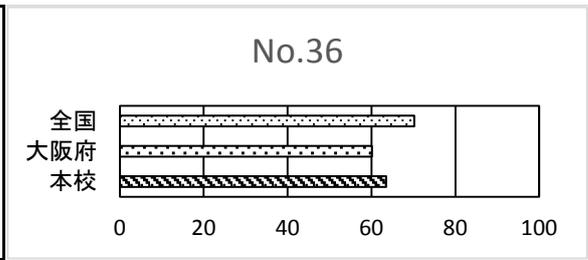


68	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。	76	62.5	66.7	9.3	<p>No.68</p> <p>全国 大阪府 本校</p> <p>0 20 40 60 80 100</p>
52	1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。	66.5	53.2	57.7	8.8	<p>No.52</p> <p>全国 大阪府 本校</p> <p>0 20 40 60 80 100</p>
56	1, 2年生のときに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか。	82.5	65	74.1	8.4	<p>No.56</p> <p>全国 大阪府 本校</p> <p>0 20 40 60 80 100</p>
66	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。	70.5	56	62.2	8.3	<p>No.66</p> <p>全国 大阪府 本校</p> <p>0 20 40 60 80 100</p>
59	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	73	58	64.8	8.2	<p>No.59</p> <p>全国 大阪府 本校</p> <p>0 20 40 60 80 100</p>
23	家で、学校の授業の予習をしていますか。	42	29.5	34.2	7.8	<p>No.23</p> <p>全国 大阪府 本校</p> <p>0 20 40 60 80 100</p>

(2) 肯定的回答が全国平均より下回っている質問項目で顕著なもの

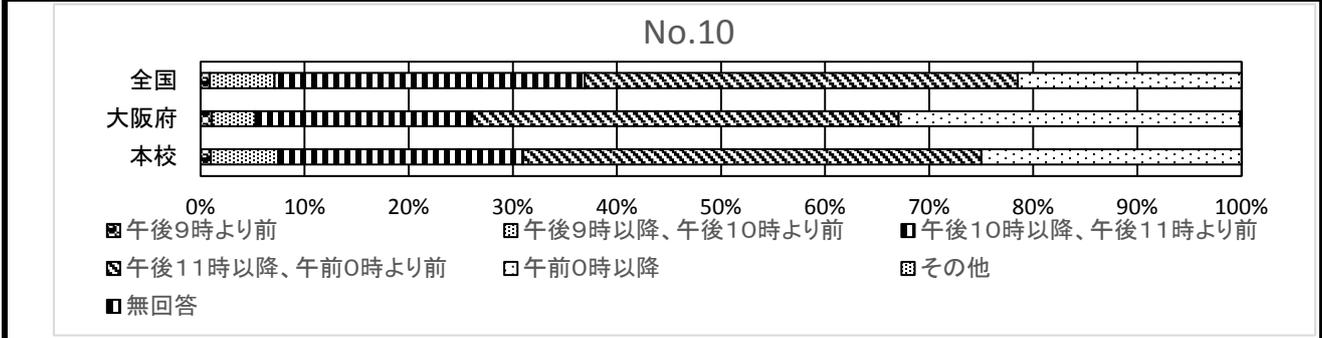
No	質問項目	本校	大阪府	全国	全国との差	
57	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。	72	68.7	62.8	-9.2	<p>No.57</p> <p>全国 大阪府 本校</p> <p>0 20 40 60 80 100</p>

36	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	63.5	60.1	70.2	-6.7
----	------------------------------	------	------	------	------

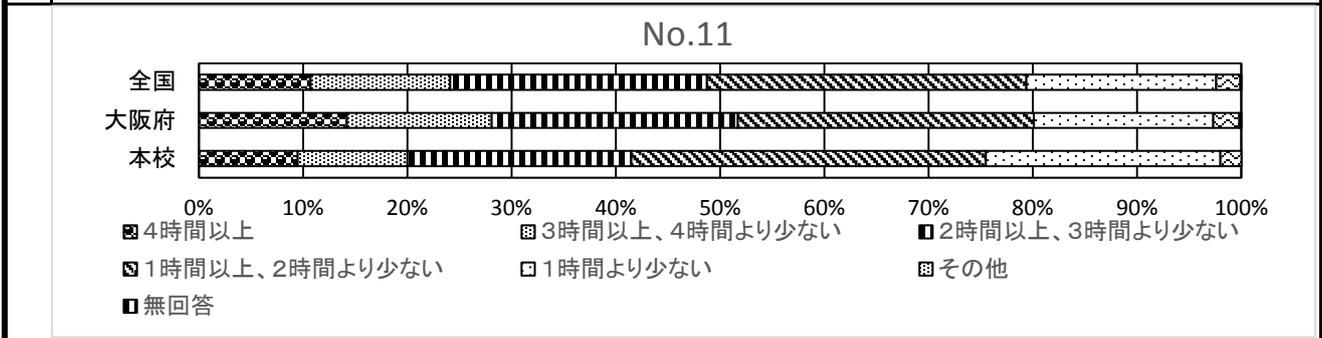


(3) 活動する時間や回数に関する質問項目

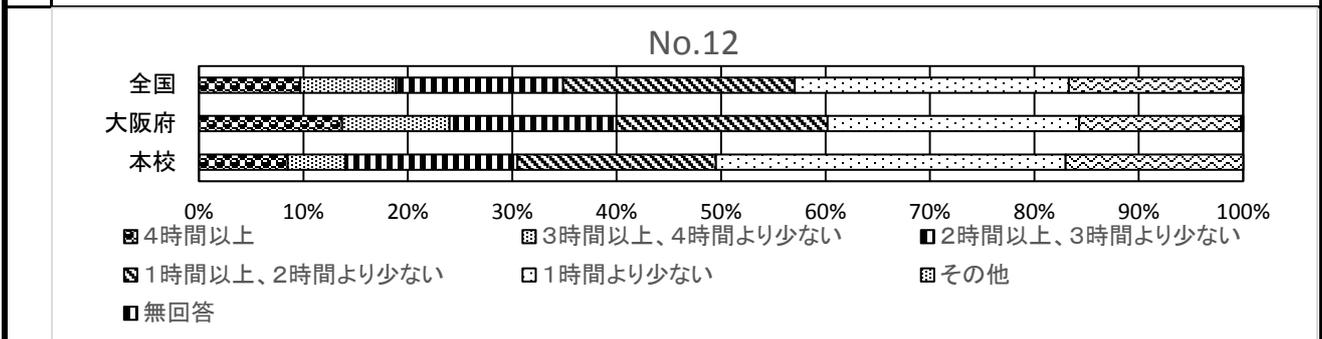
10 普段(月～金曜日), 何時ごろに寝ますか



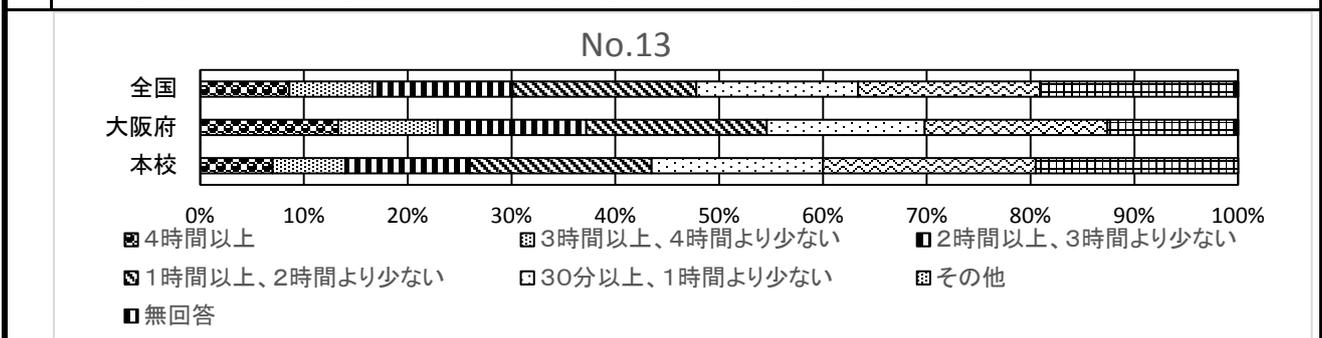
11 普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, テレビやビデオ・DVDを見たり, 聞いたりしますか (勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間, テレビゲームをする時間は除く)

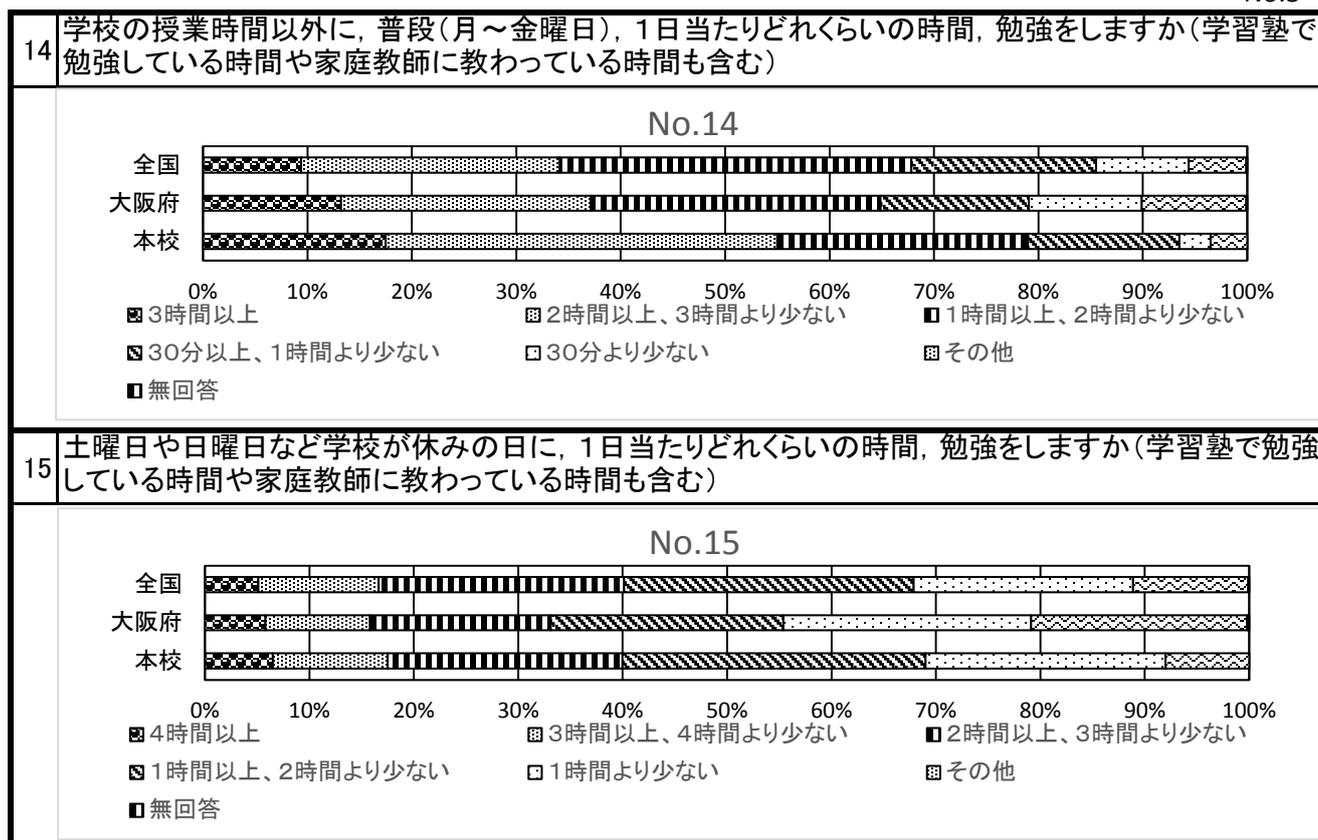


12 普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, テレビゲーム(コンピュータゲーム, 携帯式のゲーム, 携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



13 普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 携帯電話やスマートフォンで通話やメール, インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)





(4)生徒質問紙の分析

生徒質問紙の質問項目全般にわたって、肯定的回答の割合は全国平均を上回っており、子どもたちは学習面、生活面ともに高い意識を持って頑張ってくれています。特に、No47、No50、No56の回答を見ると、全国平均を大きく上回っており、子どもたちは学級やグループでの話し合い活動に取り組んでいると感じてくれています。これは、国語・数学に限らず、他教科や道徳、特別活動、総合的な学習の時間においても、可能な限り学級やグループでの調べ学習や話し合い活動を取り入れてきたことの結果だと考えています。

しかしながら、話し合いで自ら課題を立てたり、意見を交わすことで自分の考えを深めたりできているかという点、子どもたちが回答しているほどには国語や数学の結果に反映されていません。特に、課題を自分なりにどのように捉えて解決しようとしているのか等の根拠を示して考えを述べるのが苦手だと思われる。また、No57の結果に見られるように、自分の考えを整理して書くのが苦手だと感じている子どもたちが多いのも事実です。そのため、授業の中で言語活動に取り組む場合も、課題設定や取り組みの内容、発表方法等に更なる工夫が必要であると考えています。

他に、No. 36の質問にあるボランティア活動への参加や地域行事への参加が全国平均と比べるとやや低くなっています。それでも、地域行事に参加していると回答した割合は年々増加傾向にあり、子どもたちの関心も高まっています。社会や地域の出来事への関心の高まりが、社会や地域の一員として具体的な行動に少しでもつながってくれたらいいと思っています。

(3)の活動する時間や回数に関する質問項目の回答結果を見ると、平日での学習時間を見ると全国に比べても時間をかけている生徒が多いのがわかります。しかし、No15の結果を見ると、塾に行くことが少ない土日では全国の結果と変わらないことから、塾での学習によるところが大きいとも考えられます。自らの力で家庭学習が行えるよう習慣づけることや家庭での効果的な学習方法を身につけさせていくことが、中学校の段階から徐々に必要になってきます。家庭学習の定着については、保護者の方のご協力も得ながら、今後指導に力を入れていきたいと考えています。

その他、昨年を引き続いて読書への取り組みも課題としてあげられます。今年度より配置された学校司書を活用した校内の読書環境の整備や図書委員会活動の活性化により、子どもたちの読書活動を充実させていきたいと考えています。